

地形図から読む登山用語（1）

○地形図から読み取れる特徴的な登山用語の地形

1. 峠^{のっこし たわ} 乗越 峠

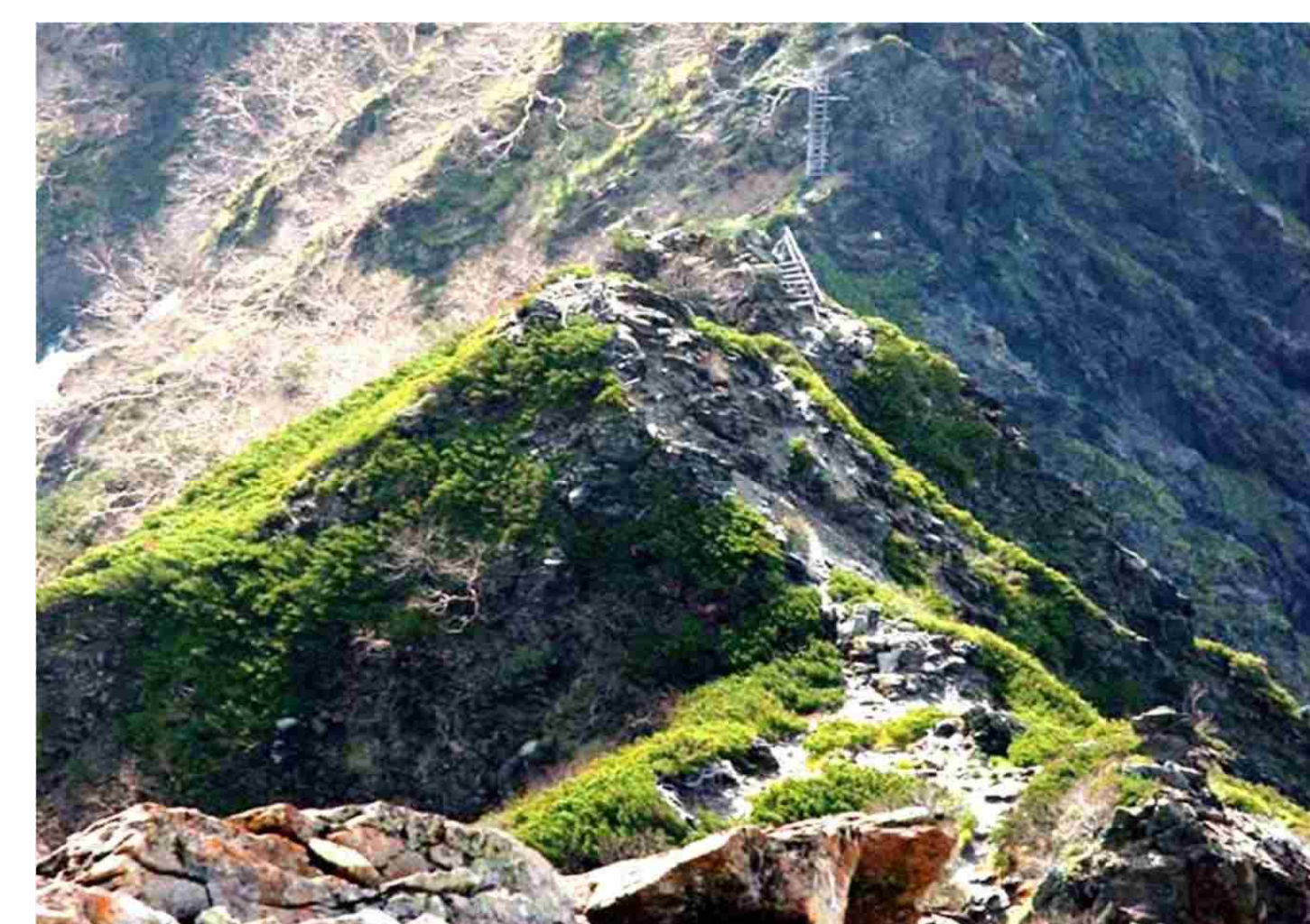
山越えの道が通る鞍部、または道が乗り越えている尾根上を峠と呼びます。
「乗越」「越」「峠」も同意です。



常念乗越（北アルプス）

2. コル^{あん ぶ}（鞍部）

コルは英語、日本語では鞍部のことです。
2つのピークの間の低くくぼんだ場所を指します。
地形的には「コル（鞍部）」のあるところに「峠」があることとなりますが、「峠」は稜線^{りょうせん}の側面の片方から反対側に乗り越えるように道がつけられているのに対して、「鞍部」は稜線上に道があるところをいいます。



八本歯のコル（南アルプス）

3. キレット^{きれっと}（切戸）・窓^{まど}

稜線の一部が急激^{きゅうげき}に切れ落ちている場所を指し、漢字では「切戸」で日本語です。
また、富山県側では「窓」と呼ばれています。



大切戸（北アルプス）

4. 傾斜変換点

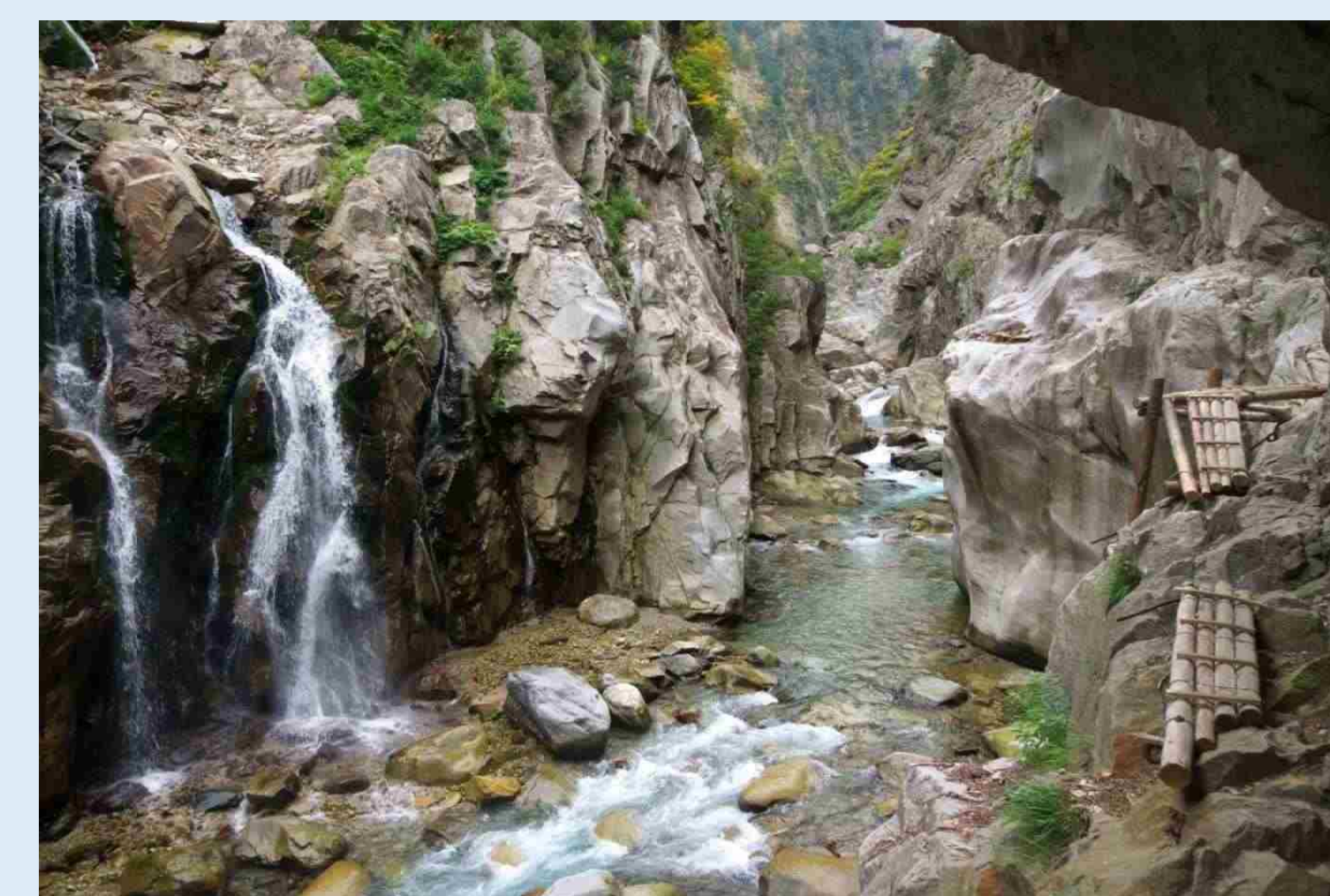
斜面の傾斜が急激に変化する地点のことです。



蓼科山（ハケ岳連峰北部）

5. 沢・谷^{ろう か}（廊下、ゴルジュ）

沢や谷は山、丘、尾根、山脈に挟まれた、周囲より標高の低い箇所が細長く溝状に伸びた地形のことです。
ゴルジュとは狭く切り立った岩壁に挟まれた谷のことです、日本ではのどと呼ばれています。
ゴルジュはのどを意味するフランス語です。



黒部峡谷（北アルプス）

6. 山頂・頂上（ピーク）

山頂は、山のような起伏のある地形において隣接した他の全ての地点よりも高い場所です。



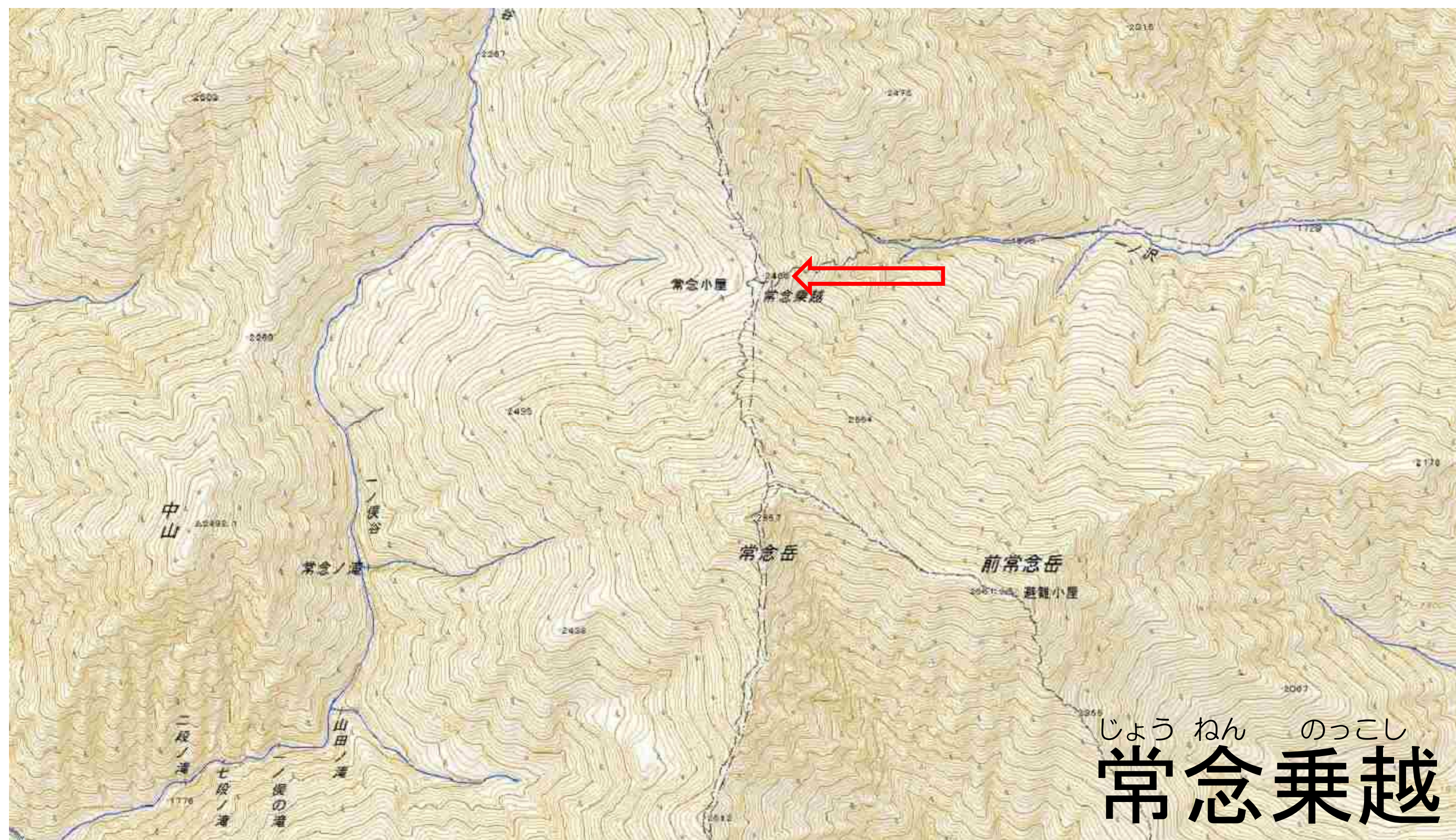
槍ヶ岳（北アルプス）

地形図から読む登山用語(2)

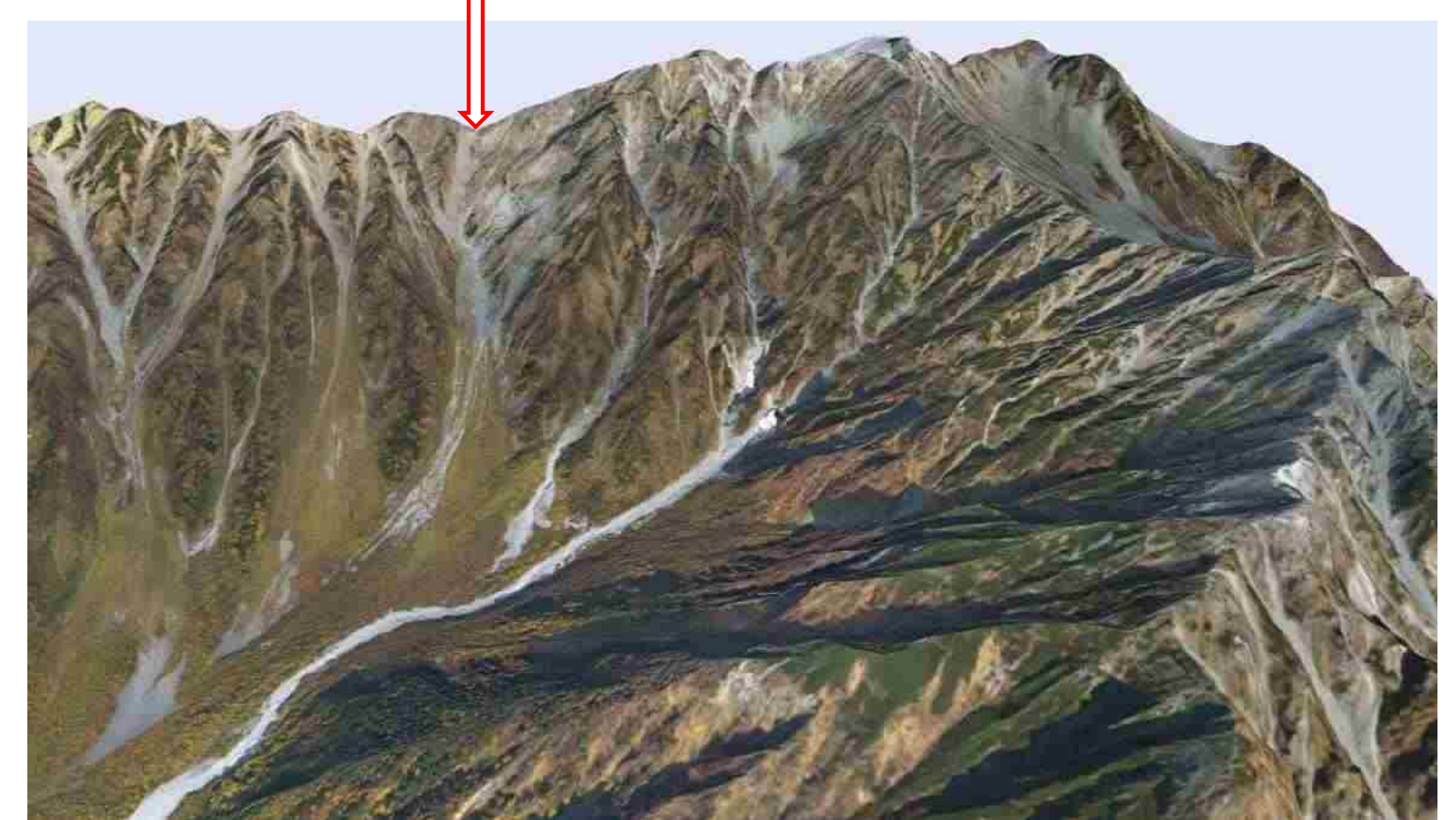
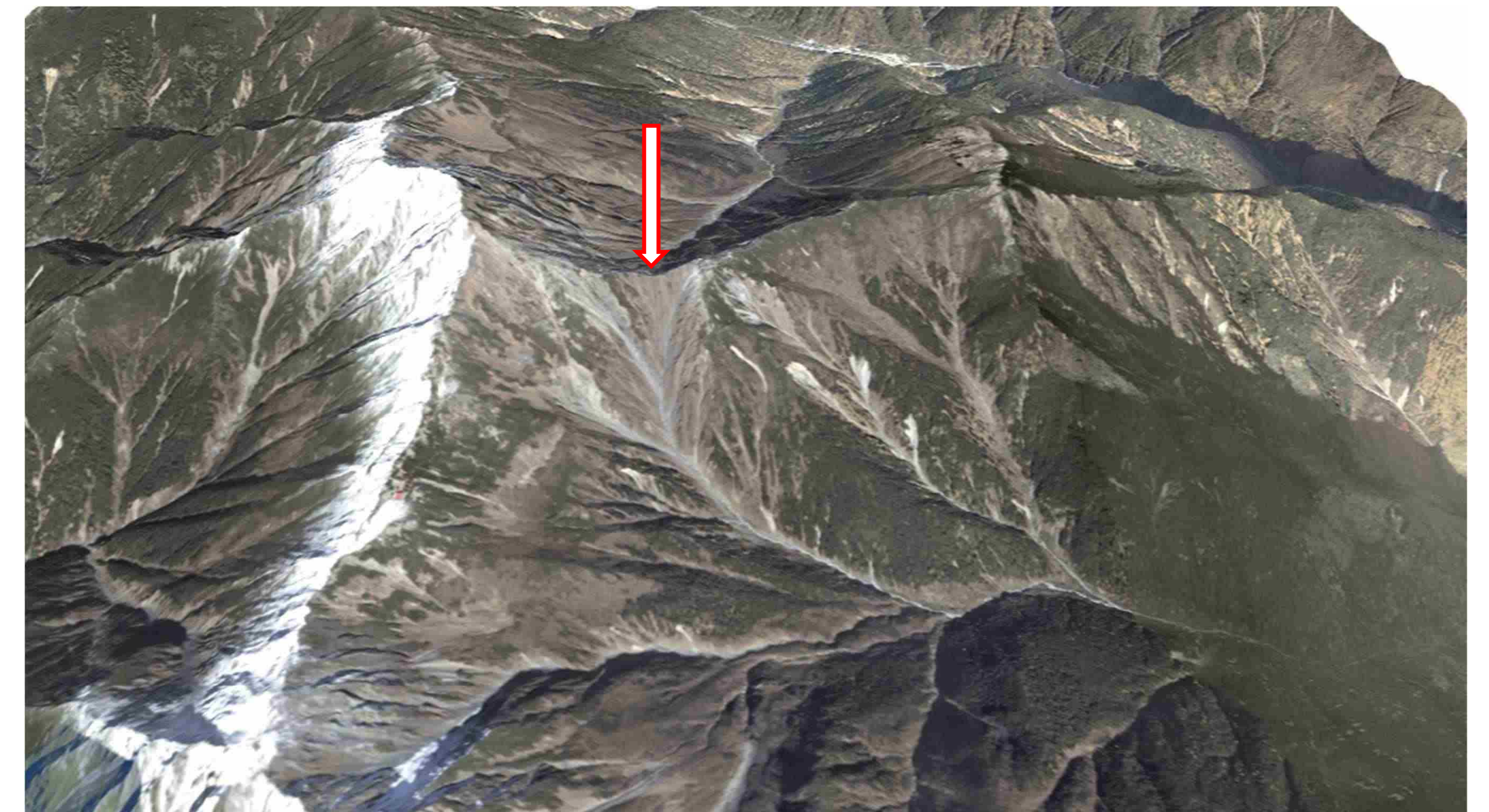
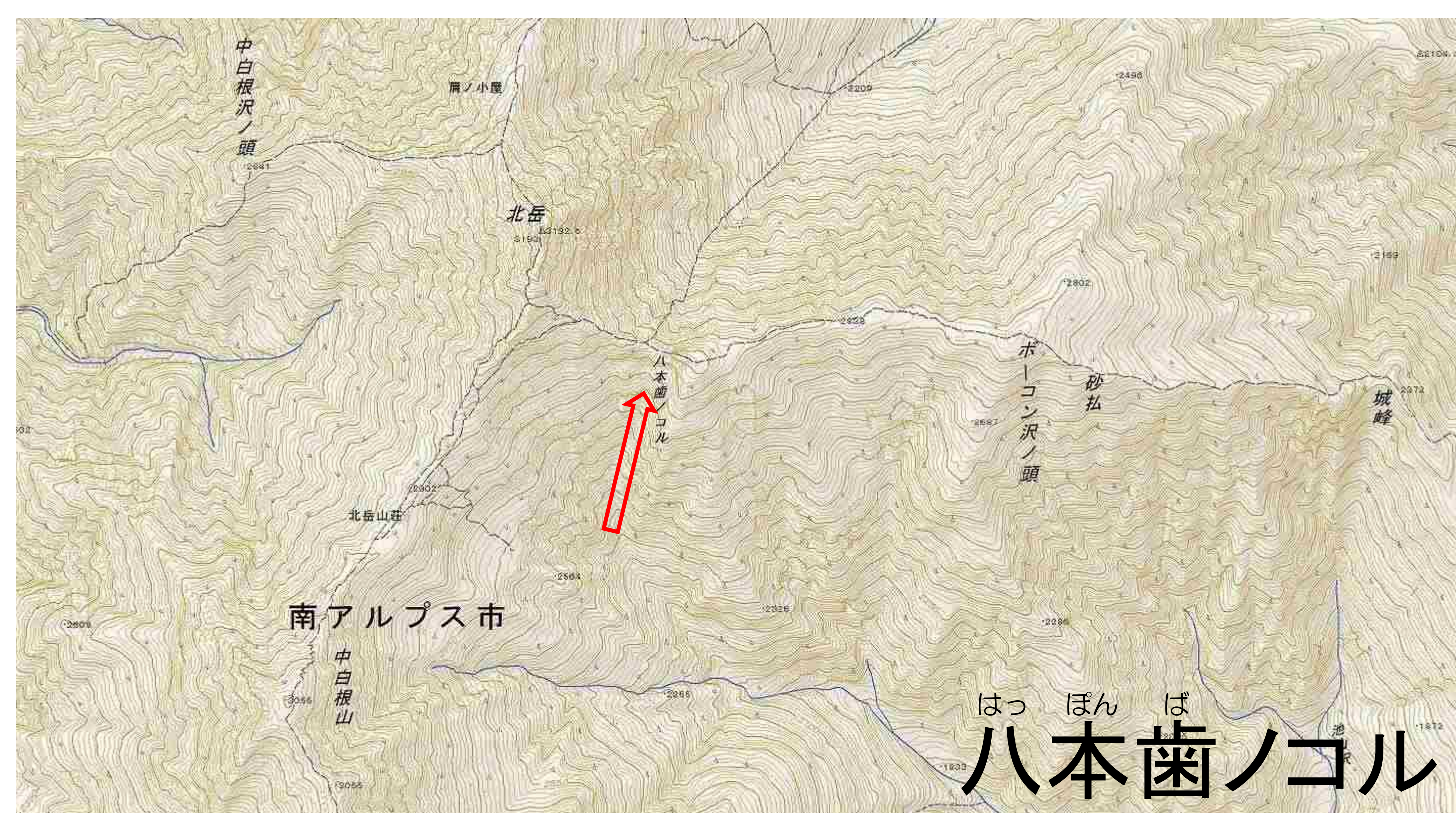
○等高線から地形を読む (地理院地図3D空中写真との比較)

1. 峠 のっこし たわ

地理院地図3D(空中写真)



2. コル(鞍部) あん ぶ

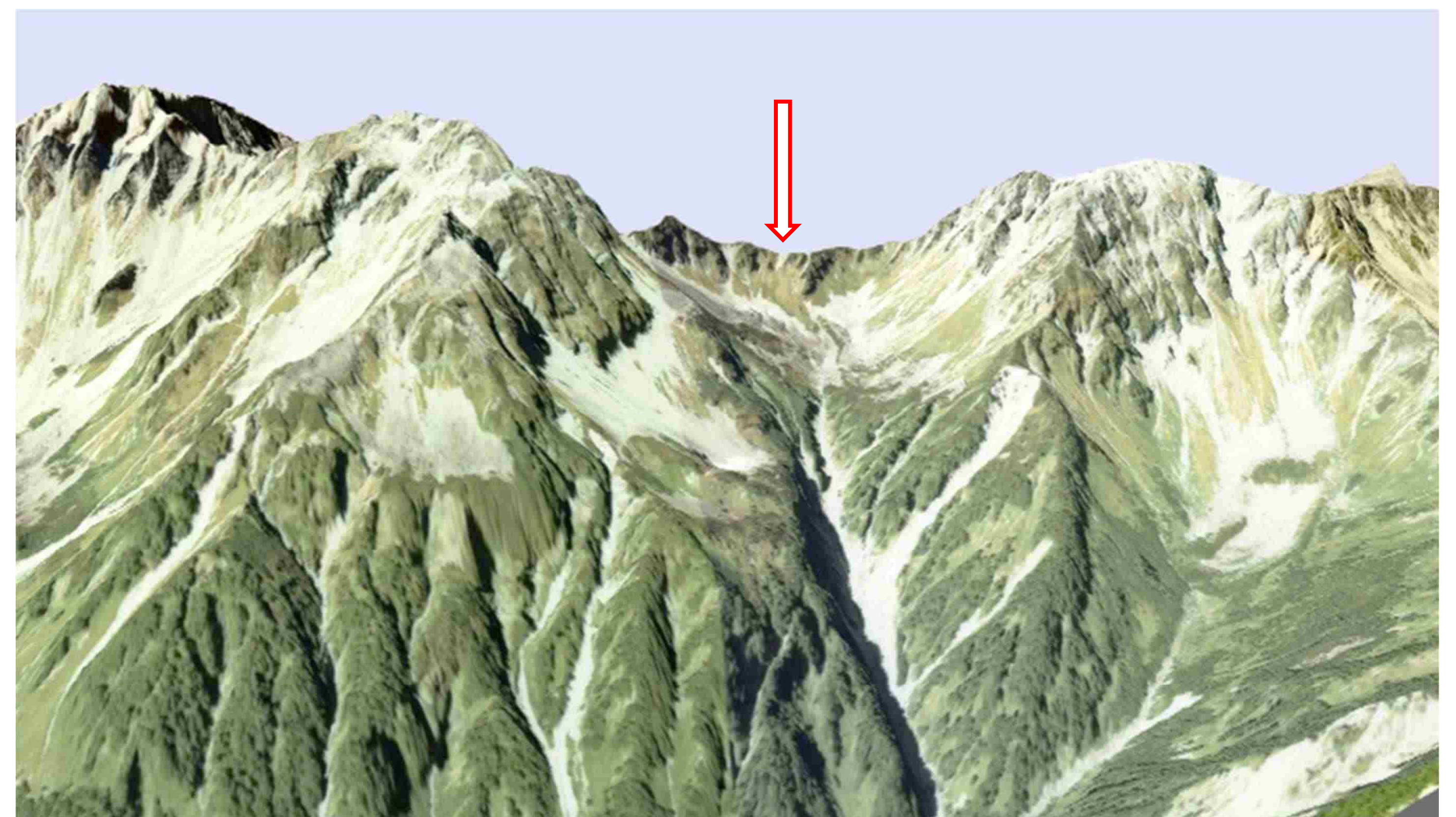


地形図から読む登山用語(3)

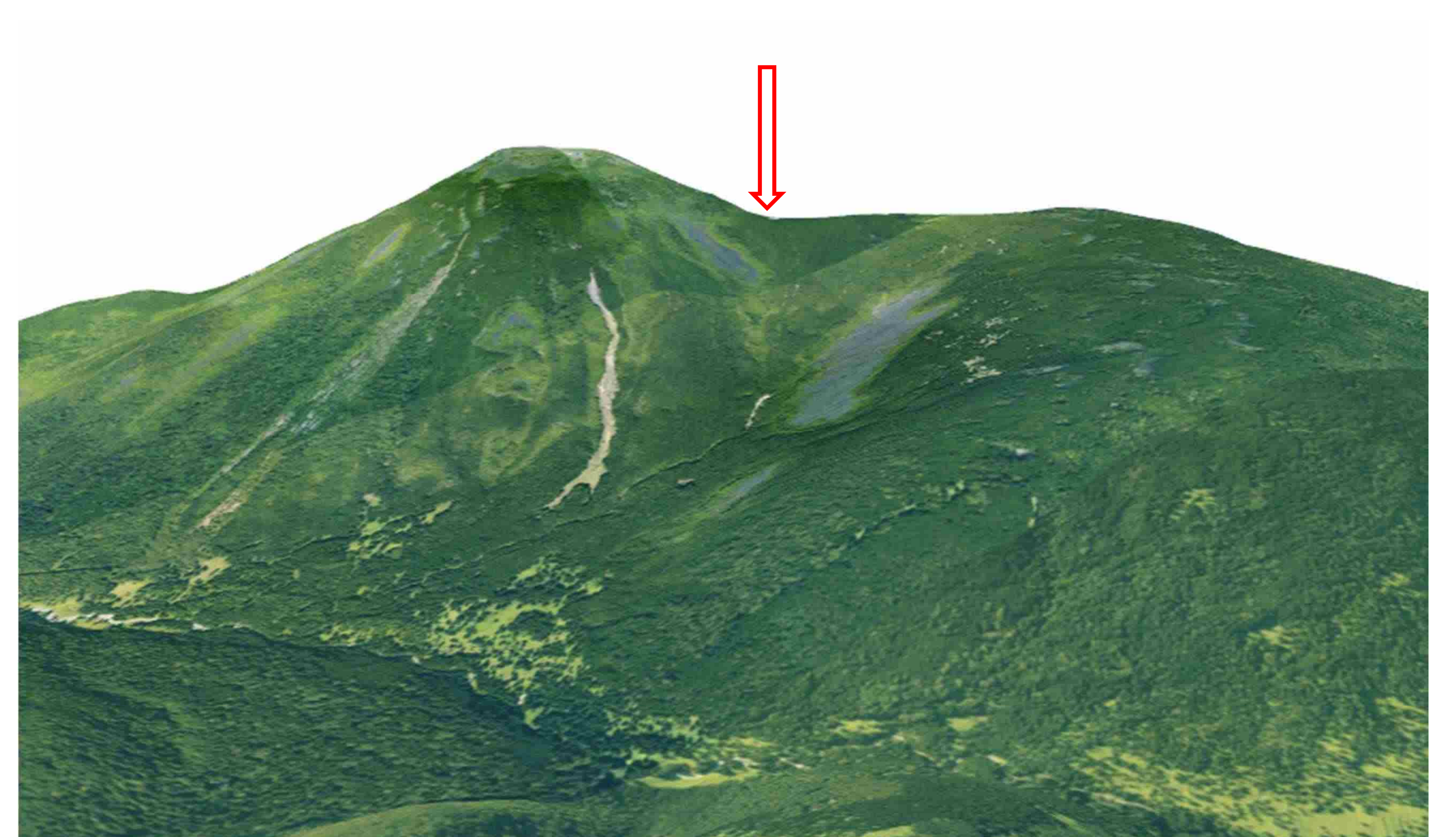
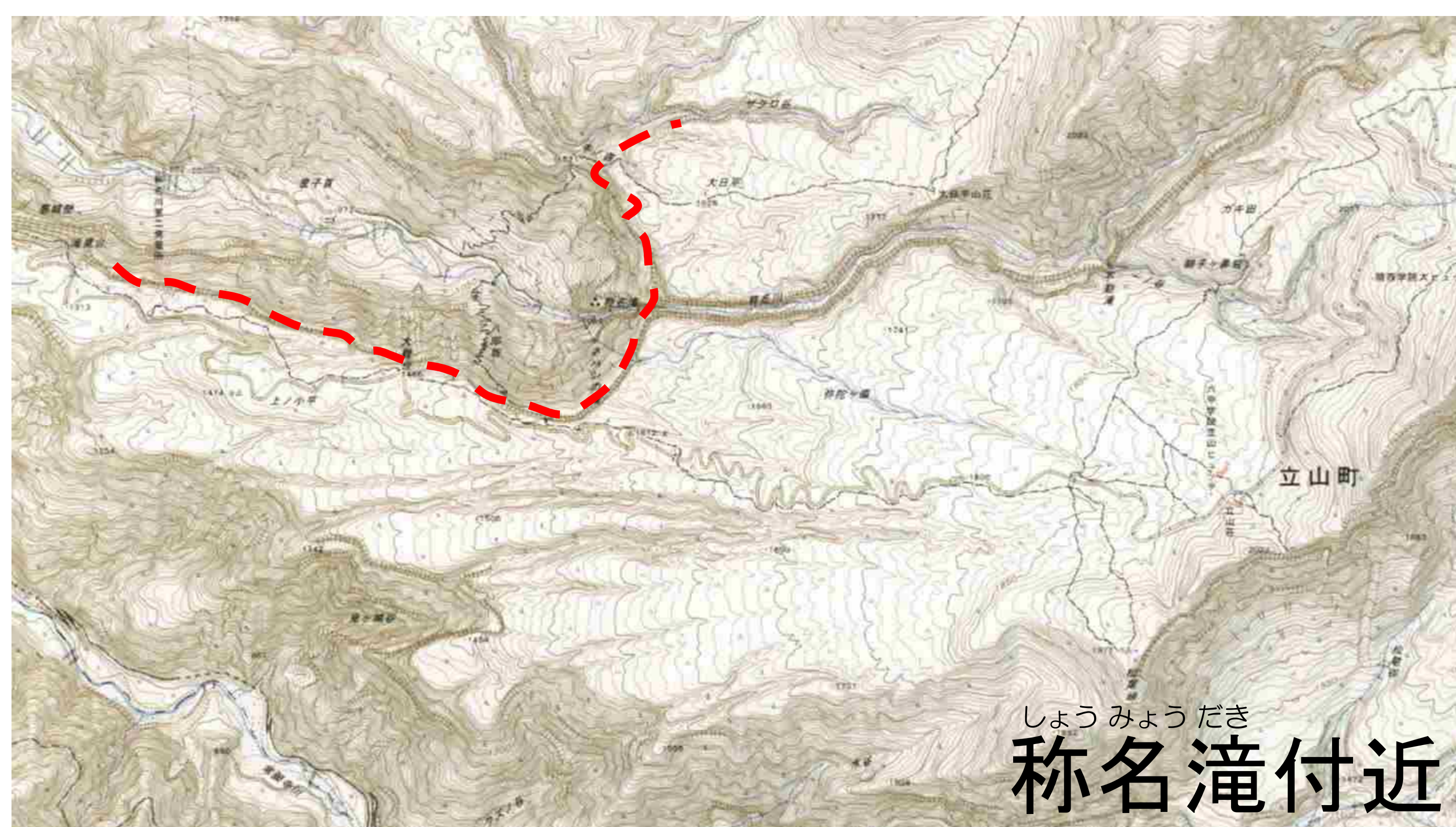
○等高線から地形を読む（地理院地図3D空中写真との比較）

3. キレット(切戸)・窓

地理院地図3D(空中写真)



4. 傾斜変換点

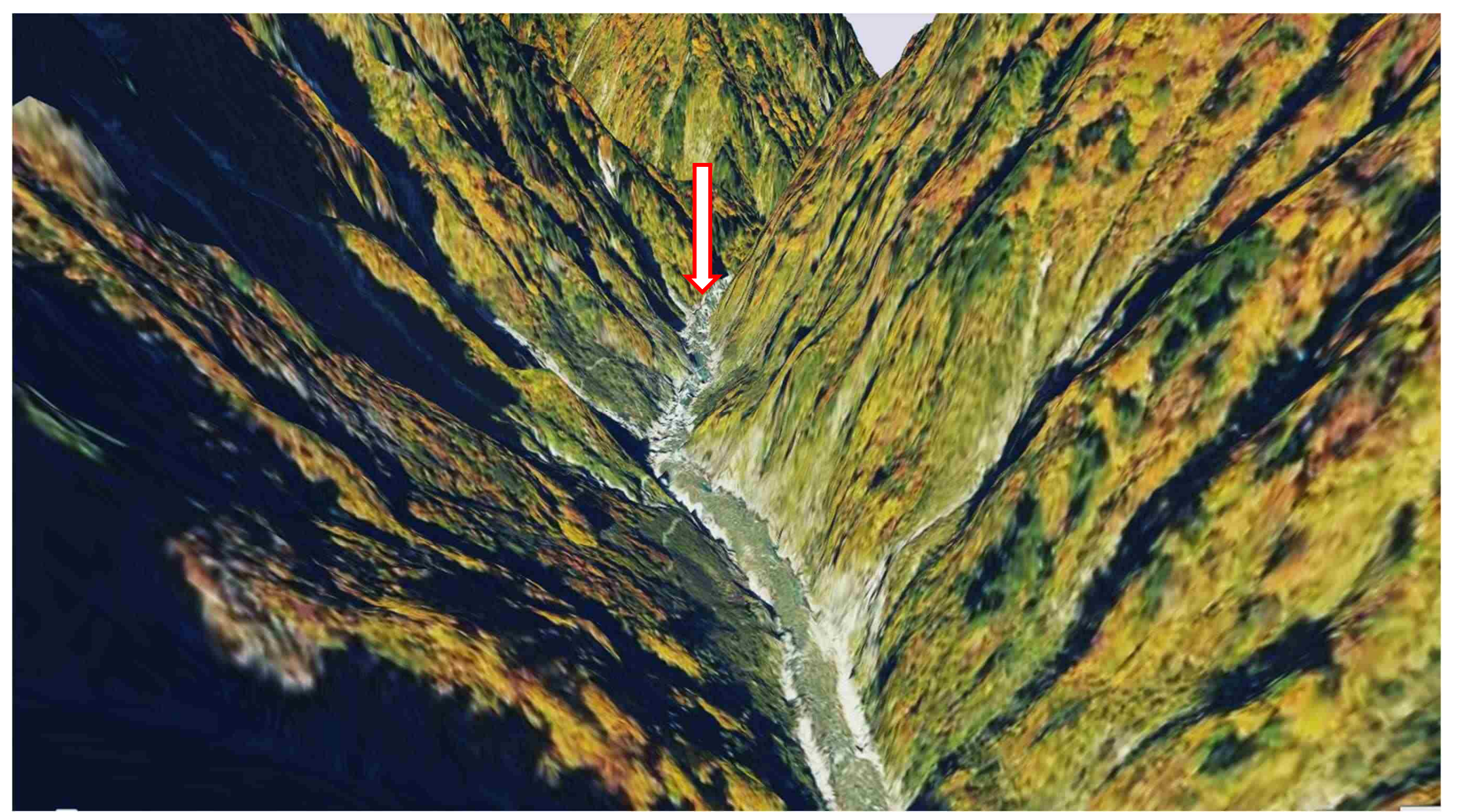
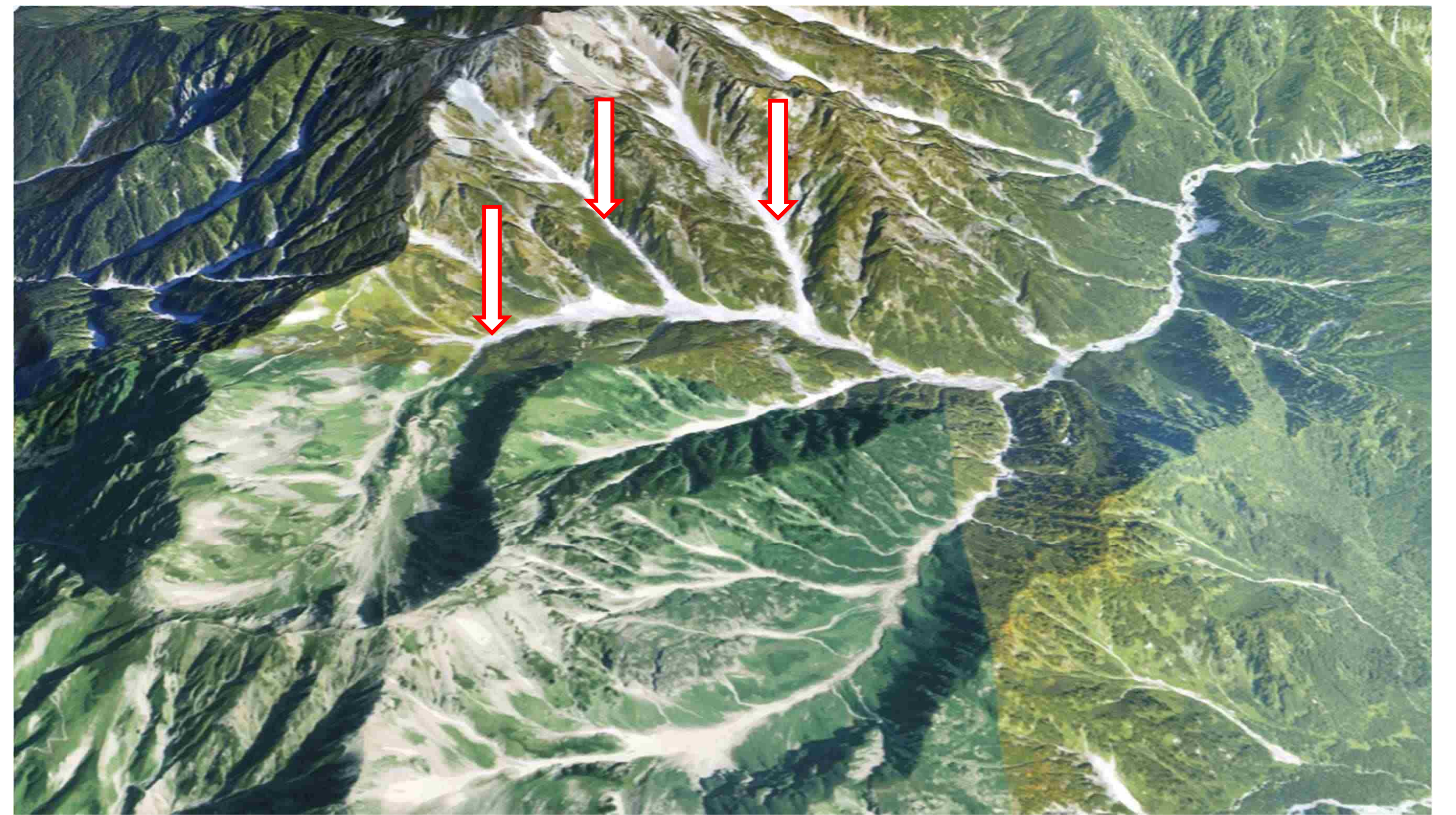
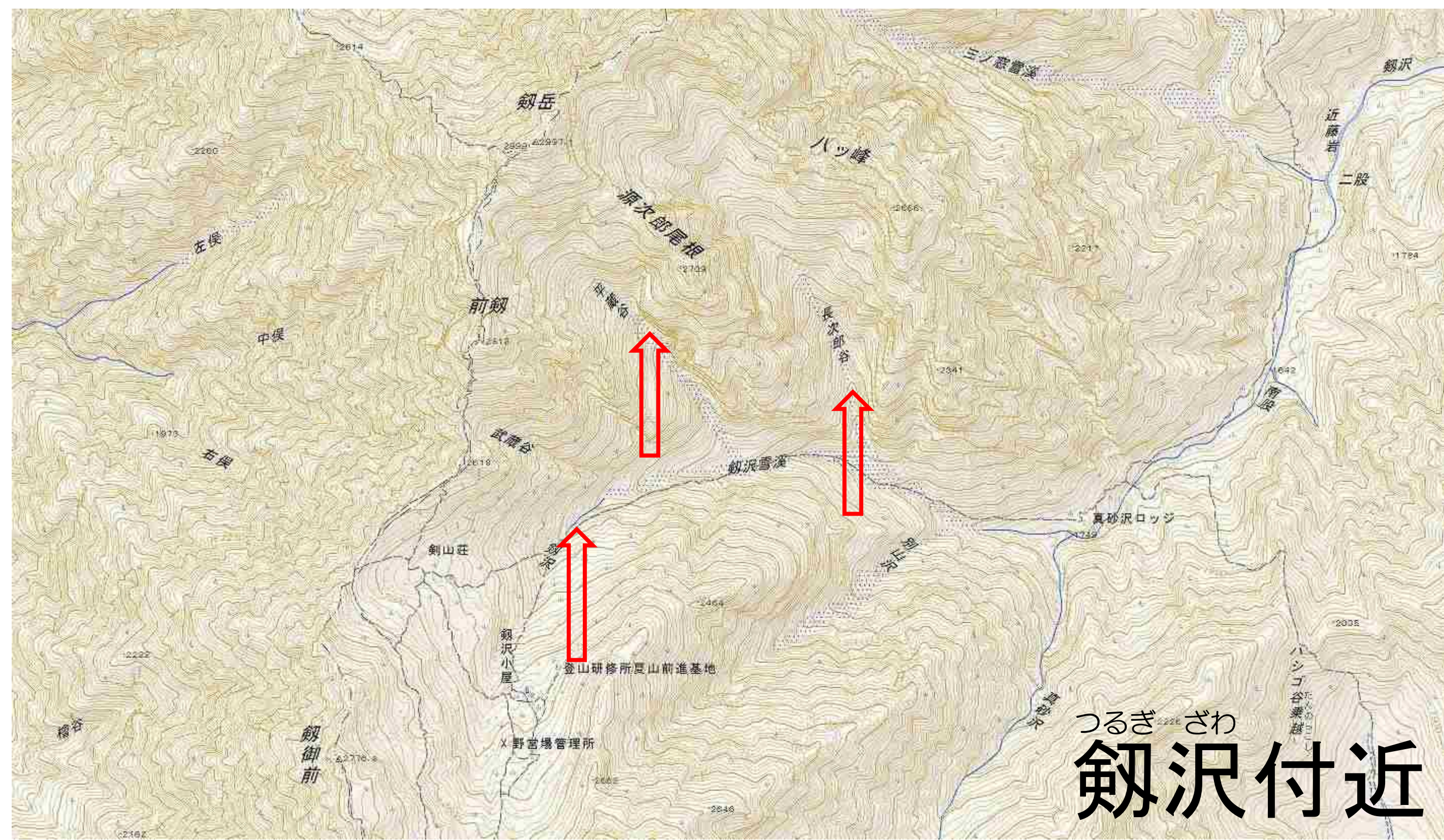


地形図から読む登山用語(4)

○等高線から地形を読む（地理院地図 3D 空中写真との比較）

5. 沢・谷(廊^{ろう}下^か・ゴルジュ)

地理院地图3D(空中写真)



6. 山頂・頂上(ピーク)

